

昔の大物ゆかりの地

歴史上の偉人コース

コンセプトポイント



1 駅ヶ池

加古川で仏教を普及させたことで有名な教信上人が土地の人にもらった鮎を食べたところ、それを見た者から「僧にあるまじき行為」と非難された。そこで教信上人はその者を駅ヶ池へ連れていき、「仏道修行者は魚を食うもよし、食わぬもよし」と口から吐き出したところ、鮎は何事もなかったように泳いだと伝えられている。

チェックポイント 教信上人の伝説の残る池。



2 教信寺

天台宗の寺院で、本尊は阿彌陀如来(あみだによらい)。平安時代前期の僧、教信上人(きょうしんしょうにん)がこの土地に庵を作り、庶民仏教の普及に努めた所である。幕末期に、本堂を焼失したが、明治に書写山円教寺の念仏道場を移築し、それが現在の本堂となっている。また、教信上人の命日には、毎年「野口念仏」と称し、会式を行っている。

チェックポイント 境内には、県指定文化財である教信上人の石像もあります。また、春には見事な桜も見られます。



3 泊神社

伊勢神宮の御神体(神がやどるもの)の一つである御鏡がここに流れ着いたことから泊神社ができたといわれている。祭神は、天照大神(あまてらすおおみかみ)・少彦名神(すくなひこのかみ)・国懸大神(くにがきのおおかみ)。現在の社殿は、1653年に宮本武蔵(みやもとむさし)の養子である宮本伊織(みやもといおり)が改築した時のものといわれている。境内にある文化財及び建物8棟が国登録文化財に登録されている。

チェックポイント 江戸時代初期の剣豪、宮本武蔵の養子である宮本伊織は、若干20歳で家老となった優秀な人物。



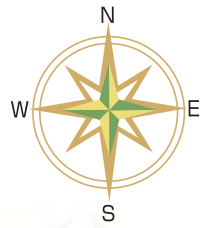
4 鶴林寺

589年、聖徳太子が16才の時、秦河勝(はたのかわかつ)に命じ、仏教をひろめるための道場として建てられた。釈迦三尊(しゃかさんぞん)と四天王(してんのう)を祀り「四天王寺聖霊院(してんのうじょうりょういん)」と称されたのがこの寺のはじまりといわれ、播磨の法隆寺(ほうりゅうじ)とも呼ばれている。また、加古川市内の指定文化財のうち、ほぼ半数近い貴重な文化財を有する寺院でもある。

チェックポイント 飛鳥時代に天皇を中心とした中央集権国家体制の確立を図り、仏教を厚く信仰し興隆につとめた聖徳太子ゆかりの寺。

加古川ゆかりの人物の中には、教科書にも載っているような偉人がいたことをご存知ですか？

昔のお札のデザインにもなった偉人や誰もが知っている剣豪など、こんな人物が加古川に?と思えるコースです。



【凡例】

- モデルコース (約10.0km)
- 1~4 コンセプトポイント
- A~F よりみちポイント

トイレ 喫茶 レストラン 自販機 駐車場

©That's & Trial 2010

0 100m 200m 300m 400m 500m